愈よ内閣打倒る

ける兩幹事長が會談

## 首相の訓示大綱決 5

## 地方長官會議に於ける 車で午後十時三十五分暗域の窓で

那諸韓に盛む態度等を同節諸を通じて開辟職及び契内服の所訓入大政策、龍に特勝の所訓入大政策、龍に特勝に亘り地方長は預能を閉き跳府の時局 (東京電話) 政府は來る十七日から一週

疑會に盛む意向なることを明示者々その具體化を励り以て特別を述べ、政府はこの趣旨により 午前九時より首相宸殿に閉館の地方長官明することになつたが、第一日の十七日 電波転頭林首相の行ふべき訓示の大綱は 丁四日の謝 議におい て左の如 く決定し

向に極み物質対策委員會を設置向に極み物質対策を訴訟し、又該近の物質態質傾急合せる政策組立のため企業認適合せる政策組立のため企業認識を対し、政府はこの趣習に基言時勢に一、政府はこの趣習に基言は表情に表

了し数官の好條件にあるから、 の一つに超いているのである。 の一つに超いているのである。の如き銀解を行し、近く排解され が、今や金融機の観に再整備を完 の如き銀解を育し、近く排解され のは登場を育し、近く排解され では、一つに超いているのである。 の如き銀解を育し、近く排解され では、一つに超いているのである。

東来の台灣の質量語は砂璃にし ・質易 ・ として来たが、然に目下の内外 として来たが、然に目下の内外 として来たが、然に目下の内外 として来たが、然に目下の内外

する南方政策の作子は農業合語の 【東京電話】小林台結認何の抱握

訓示草案につき協議を遂げ、その 人綱を秩定し同十一時年散館した

非野农長以下職保留2

野の新郷監一行は十七日大町部列 金剛山及び東海岸地方税祭中の大 | 出了を搭載されてき、本で日七 | してその客事に関しては重大な開放的、大学のでは、本で日七 | してその客事に関しては重大なるものと映解)先づき映像用とようでは、本でもし、してその客事に関しては重大な開 これることになったらう との下に開館されることに決定、いったものが台湾に於て求められ、第一部設定に於て大野政府總置総であるべっ大が議離工業の資 中郷院健康は八月七、八兩日本府の東方が開設され製器工業の資 定例閣議

す前十時四十分首相能感に開館、第二日は前日の新聞舎申を行ふ課に来京連高1十四日の定例確認は、長の確定があつて新聞舎申に入り「米京連長の機勝、勘線局談として、野神技の機勝、勘線局談とにより、

『社會教化施設中朝鮮の現状に一十回を決定した 心が持たれてゐる、即も諮問の內 第二弦傩金支出十七萬二十四百九

地方長官官部に於ける林首相の

**が監督局道事が官** 

おいて企門院設置に伴ひ十二年度 「東京電話」政府は十三日の開議に

で朝鮮人生活の根本問題の映画が 制度は依然としてこれや記むる制度は依然としてこれや記むる事項、及びこれを一般区域、記句の事項、「同本費の同変拍便禁止の国域、「国本費の同変力を一般区域、

然省管理局長 (二等 **卞の信望** 

へあれが生馬の腰を脱く奴だな、 見る間がなかつたので、どんな人

心じて貰ひた

意見を外部に發表せわやう!

結城總裁が企畫廳職員に訓



本所農事武蔵場を視察かつ各種のの最後のプロとして十四日水脈の

「製造は武器」も思想がつ各種の「関について考究中であつたが、 版後のプロとして十四日水城の「相は五龍藤原の構成長び委取の 財政監括郡政は監修技術的部議」とになつたので、温販米林兼構 を より左の三氏が別席する まり左の三氏が別席する 內地警察部長會議

茶鄉長、北村繁新局事務官

に出席的東るとハリきり、往時(四十分内地へ))によるではユニュリチョンでは、1十年振りで総常院本資設(一十四日年後三時十五分人域、同一ば、貸してくれない事もないだまに見信官に募出された長去(一四十分内地へ ◇洪心東氏道整體選長夢のため一ならんぞ、 ▼ 日本では、 ・ 「日本では、 ・ 「は、 ・ 「 (第廿酯國紀理 部

天地玄黄 語にでも往くかり

は政策よりの提携の申込を行つて

| 東京配着人京、十四日午後林首相| し、骸に高酸を考喩とする我國籍| | の小林高融調質は十三日午後九時|| 皆の擬本万批について凱恩を受換 | 東京電話|| 林内閣に初家郷の太|| を訴問し索郷を行ふと映に前陸戦

に際し郷祖定は即死二名、重智協設は無事変助された、但し右處破役は無事変助された、但し右處破

全く同態で今やその機運無し

万政友官も設民共同連繫の主旨

る現状にあるので、小泉民政権

四舎あることは明白であるから、

本府外事課に

通商係を設置

七月から主任以下係員を配置

事務開始の段取り

ことしなったが、分筆規程を制定し意と

四日午後二、四時節週間の場所

下前十時 医前周 に出角、林门科侍

間官の製住式を挙行せられ、上奈良、荒木園氏に對する概

備したが、一方これを銃出を目差すため、本桁外出を目差すため、本桁外

東京三三 天皇陛下には十四日

台せたい。間を申込み、松野戦事

から開発提携の基礎化につき打し電話を以て『現内閣打倒の目 水野地長上り松野地友野地長に

**歴解の第一番手として十四日午前** 

日夜背間部腰識の結果、南流

した南流は、天本首腳部倒離を開「宮成上から小泉、松野刺除事長」によつて提邦への第一歩を踏み出」を進めることなるものと見られる。

は十三 日中役スペイン西部維隆 騒逐艦である - スリア 徳に人港した記徳表した、ス難選艦ハンター號(三五〇噸) 九三六年峻功した伏かりの最近式(年後編選艦ハンター號が無事アル

【ジブラルタル十三日間盟】ジブ ものと信ぜられる

ヒ總統とム首相

四年振で會見

革命軍機の投爆が

学術は革命軍々用機の投端による

【アルメリア十二日同盟】イギリ「十二名を出した、ハンター號は」「ラルタル海軍要差司令部は十三日

文教審議會

に朝鮮の列席者

ア港で爆破す(メロñ/

監視中艦首が敷設水雷に觸る

即死三名、重輕傷者十二名

アルメリア神台五軍の海上で刊逝 革命軍事

我南進政策の

具體案を進言

昨夜入京の小林台灣總督が

は見る見る中に随いたが、この機

けふ林首相を訪問

とする政民連繫の機道は撤次其體

リー新聞の威祉式試役 日本がスペイン軍能政府を承したと、スペインの片田舎から放送される。もし事實なら世 往つてい

佐路として網えない

と言明してゐるが、この職報道は

ニ、ヒトラー有貴處我の類別日取「相は十三日下線で「暴發とする一味は十二日ジョーシーローマ十三日間盟」 ユッソリー | 議ずる熱詞といはれる、チアノ外 | 郷ダブリンにおいて急駆得宣派を

十七日重要問題協議

ればヒトラー總統は、來る十五

五幡的の特態列型でベルリントリング空相を借同、サルン

ワソリーニ首相と同事、鑑念する出路、ベネチュアに貼き十七日ム

歴史といはれる、南海裁王の館児

四年振りだがベルリンパローマ

銅像を爆破す

我に際してイルランド各地に反案 【ダブリッ十三日間盟】 英帝顕記

### 中樞院會議に於け 諮問の内容は注目

大野政務總監

六月七、八兩日開會

共臨は趙を渡りきつたところであ った。龍脈は傍に人がゐるので歌』どうにか物になりさらだ。 龍蔵はびつたりと脚を停めた、 で組みに入るかり (それではやるか 統人なら小物の經歷もあるから 谷れるのを待つ **勢郎** 畫作

引返したが、が角性からときめて こない双だ、追つかけるだけが強」した、龍嶽はふいと脚を停めた。「しかためねえ、どうせ捕まりつ」」やるかと自分の胸に聞くやうに 加載は存むらしい言笑までして 何をそんなに寄

あるから安心して對手を見た。 いれて喧嚣は吃 加太郎の部下 朱朝の大小を

たのが壁に皹つてしかたがなかつしめた吉鵬へ往かれないぞうになっ

最き殺してやると云つても節をの神戸六郎と云ふ浪人であつた。 根荷する事が困難です。

健取粉で有名な今津佛属理楽師士

するので、四の流れが漁くなる。 するので、四の流れが漁くなる。 野頭突厥院院、医療など高速が乗り、血管が無化 難の配管が高い血液に堵へられずが高くなるのです。 從来の高血酸、中屋の治療法は、 破裂するのが腫液血、中風です。 たた無理に流さうとするから肌を 時的な、無理な療法ですから、 血管を擴げて 血壓を下げる

服薬を止めると交通関りするので

十日分僅か一円五十銭で、全臓の 薬店から分譲してゐます。

の完成した、リキシン・イマグ」は一本館へ申込めば血液剤化療法拠点の完成した。リキシン・イマグ」は一本館へ申込めば血液剤で行名な今津梯路理楽障士、関名を凄き、大阪市大仁の縄取剤

大郎は笑つてゐた。前にはいみ、れとも魔権にでも入るつもりかい 「おい、酸質の最似をして、醋醋 にでも注からとしてあるのか、そ に入らうと若へたところであつた。 ▼イマッは人部に無常だが、害虫 には震歌がスの様に腕ぎ、微が が強くてもちのがい語で、凝体 が強くてもちのがい語で、液体 優る理由





一乃公は金 は集唐にあり品に添附・ソー語に添附・ソー語和規定は商 賞懸大『當福 攻二(**国拾貳面**額)等一 攻一(寿債業動引割)等二 等五・四・二他共

ある優はない。 ある優はない。 「通つかけたが、脳蛇の中へまぎ カカ・をイチュー・ 「通っかけたが、脳蛇の中へまぎ の金であった。龍巌は惟くてたま一年られたのだ。 (何とかして金が作れないのか、) 小倉庫へでも往つて嘘でも云へ え、そんな事はわえ、 たか

野! あぶ、羽虫などの 大切な動物の蚤、だに

動物園でも

避くて、動物に無害な難除には、効力が大變

雨あれやっ 大阪市・大仁本町三 イマッを使つてゐます職くて、動物に無害な 7,2 風中

内を、温度な血がサラー、流れて出版をなでは、職力のある機い血管 高血壓

一能報とは全く辿った方法。 濁り血を除き

血行をよくし

情気の原因から治療するので、 歴が自然に下り、然も下つた血味

が容易に逆戻りしない。從つて

**層こり、どうき、息切れ、不眠** のぼせ、頭頭、めまひ、耳鳴り 便秘、舌モツレ、手足のシビレ

マルモンを腰形した高信楽ですが、コーヨと目に見えて飲がします。 ローヨと目に見えて飲がします。 が行り、魔盗皿を保防する。

経験安全です。 経験を発すが配はあるが イマツは、とこで使っても

マイマッは液体設度剤と

も安心して使へます。

の個、版概器とな

別にあります特製預京虫用

名拾參 枚二 名拾六 枚一

二、順、この世知辛い世の中に、

(それでは、今の国際の民族をす しかし、一人では何遊の强調に

個模をやらうにも自分の動作の | 「作れられて往つた事はあるこ 「それ ちや、 作れてつて やら 遊びに往つた事があるかい

「伴れてつておくんなさいこ

つの療法

副

**全部各步兵部隊及び平ໝ、龍山、大田、平山、龍山、北山、北山、大田、大田、** 

六月九 日出發

除隊兵

「耶の唯川病院の除隊兵は二ヶ年

長時生活を名廻りに六月九日

除隊利用に関連すること

※三局で一貫二干の加入者が無駄な通話で電線を酷使し交換線を泣かせてみた夥しい運活回娘も足城所内の臨話使用網の度軟態度が愈ま七月一日から實施されることになつた。これによつて従えせく/〜と復民が復女へ掛ける甘い暖寺の電話にも三雄郷はねばならなくなる──懇愛であつた |理化して来る(高英は度数制質師に作る新裝置) を見るのは必然で、加入者の電話使用度取によって料金も徴収せられることになり、すべて



# 度敷制早わかり

電話料が一躍十八倍になり

懲せられることになる、但上市外、使用者によつて際分と扱つて来る。区野に一日や均入同以上配用される代り市内通話一回館に三銭を「プラ取られることになるのだから」 【音/提言表演』となる。 二十五風 に引下けら これかいはモン人の座館に三銭

負擔輕減 となるが、

京城入りのアラメダ野球軍

悲鳴をあげる本券番

第一米作町二五〇松田写領(Po) ひかける氏と一途に往ぐ息子

侶だけに懺悔の勝をきめ他綱のま

| 選択機関の関語が本局、光保町 | れてみないし、こもらから呼出す | 既べて見ると一日平均七回使用 | お継修築を散み四十二歳の時記が | となり十三日午翌三時この三額自 同何を得たが懐中には恵恵家から一十一年建設算で工事を含いてみた。通話と違つて一通話三分とは映ら | わけこが、現在の年額百十四國と | は五蔵の時報里長野殿三科で入山 | 愛の喰迹のからつひに自ら鞭欺僧 | ユヌラステと倫理も自白、係官の一十一年建設算で工事を含いてみた。通話と違つて一通話三分とは映ら | わけこが、現在の年額百十四國と | は五蔵の時報里長野殿三科で入山 | 愛の喰迹のからつひに自ら鞭欺僧 | ユヌラステと倫理も自白、係官の

大多數は却てお得 関節されると低定語にたらへ…(経) | 同局で形内公服者を敗立館の下に 十八百國からの電話代に、つい歌 名に對して架散数千三百八十箇のかんであたものが、今後は年に八 | 通電話の申請受付三千七百九十八 犯据つても解棄が多く不便による | 行ふことになつた、今年は申込と 場をあげるわけだ、なほぼ温が 然能語の市内通話科士銭と京城初 関して利便を辿るが、思に公 公衆電話のポックス 要番など年に五百五十六回で 實施の理由

頻繁に使ふ所には痛いが

三銭宛い

「内地では加入省五十以上の地 大都海に採用し明和九年四月に 大都海に採用し明和九年四月に 大都海に採用し明和九年四月に 大都海に採用し明和九年四月に 大都海に採用し明和九年四月に 由田郷官局長は次の如く碇つた野敷鯱の質励について上四月正午 山田遞信局長の話

一架説開通は例年通り今秋の豫定で一が學務宮局は十四日午前十時左の 監選率は三別七分羅とたつてみる せられることとなり度数制は大力至八期の加入者は貢削を完成した報ご割のものの割合を見ると大量三割のものの割合を見ると大量三割のとのの割合を対している。

も負担を隔減せられるものであ ことを理解して繋ぎまして果 に将来度敵制を調慮せんとする 後連都市のために穏を小されん ことを切に希望します 幼児を練倒す十二日上

施定銀行四間時間死、参加村一組部長を終て書師に依り京城市朝鮮 校は五年生まで)撃役長次は底で登掛に男子中等學校生徒(除館 九日目取組

松維 詩。細田義爾 曲

益愛子

「ア・ラ・ドーモ」 古川

貧ミ愛の板挾み

お坊さん遂に破戒

はげ抜毛

海と山の眺め

富なお湯 洋の設備

政派客を中止するがそのば 堕胎 客性送のため十 でぞみ。増結<br />
後川様

元不明のため銀道屋院に改容手営

釣錢詐欺

病院で籠拔け

一月可愛い赤ん切をまらけたが迎れた阿潔に強いれた。さすがは俯(ない)は、「はない」の代料はな小野忠言と方へ十四と法文を眺めて続の勝とたりよう。「今に手を出したが監察費に襲見さ」(名)は、「「「「「「「 京、『踏切で 十三日午後 八東部質野網歌きでビュルニ本サ 小飛ばきる 八時卅五般位 織へてゐた卅級協の男が低か割る 一八時卅五分 イダー二本を配達してくれといふ で 大東部質野網歌きでビュルニ本サ 一十三日午後 八東部質野網歌きでビュルニ本サ 飛ばされて頭部に重勝を負つた身。鏡九剛四銭を詐取逃走した。 墓墓プタカポジ首報を企て勿おしたとていつもの手でまんまと約 報位の少年が訪れ、御路五ノ一八 部に原 南西の風 ぶつたり 蔵南省 化西乃主 弱れたり 関の風光 北(の風苦一調がたり 強ったたり

の朝鮮人女が飛込首報を企て刎ね

野蔵出 ○風 当つたり 蔵選化 (電り 岩西) 晒れたり 仁川の潮時

待伏せ強盜公判

懲役五年を求刑

| 去る四月十七日午前十一時、三月月 | 法述、何之、「単質調べの浸憶事は | 域の中心市領電大門通船製 全版社 | 被告を事じ 歴代五年を来報し、、 | 瀬で本町一丁目北内鉱版の店域社 | 銀杏含製しは来る廿一日 | 『で本町一丁目北内鉱版の店域社 | 銀杏含製しは来る廿一日

全鮮中等學校 庭球選手權

(日曜日)午町九時京城運動場陸一朝館飲式膨帯聯盟では來る廿三日一

型空運気は日本空間が此と出通公

日支交通史上エボックを削する

期らず、釜山単を陥れて半部網探 「おゝ、ピューテイフル!」と「単は釜山上韓早太韓郎の眠れにも」の河麓に陽捷げのした眺を聴べて に來た!本此招聘のアラメダ野球一つ、アメリカ第二世世、日本遠征 外來の問題氏のアラメダ軍・は強一の朝務の中にプラフトホームに起

「おゝ、ピューテイフルー」と

りである、つい近端間えたらしい

は一日ゆつくり作者といる解俗は

朝鮮神宮へる平ける

あちら言葉 で先づ戦戦 せたり、カレッチソングをハシン 世國の意語で旅館の女中運を笑は

日支の航空連絡

是は地位、大連工党域、論論である一番以下一行十九名、冷やから初度一党世界が影響や境域アメリカン

(世衆部戦と献于を交したが、言葉 | 投機に辿き、夕刻まで変載を練つ

はあわら語でもみんな中欧中春が一たが、午後七時からは京城電大食

招かれ、敵族の景定館でアメリカンの業部の砲器館に

母君よ、我々は皆

再び幸福になれます」 ウインザー公お電話で 御婚儀問題を御懇請

岩部列車及び午後二時二十二分

京城入りのアラメダ軍一行

まづ朝鮮神宮へ参拜

赤帽も凹垂れる

十四日朝の天氣槪況 低氣壓が散在して居りますのでか

南山町ニノー〇英町上志C\*ごに

國域事立即で京城地方法院第四部 早町十一時から山下裁判長、 量が成人事性第一回公報は十 施本縣生れ元平田百貨店人員

總發賣元 丸 石

石製業

株

式

會

忙

を 経薬店に

四時半アラメダ 人場券 普通六十銭、ネット裏一圓、學生、軍人四 時半アラメダー型 - 銭(共に運動場入場料を含む) 對鮮鐵 對府廳

三日同所よりロンドン島帝ジョ が一の日を開係な遊ばされてる

イギリス助帝ウインザー公は、

君よ、我々は影形び幸稲になるこ

問題の解決を御型制題ばされ『神』ひだ、出題への入も先づこの大ス

近石にヤンキー 住込みの巨 階級

**らか、そのパットの何と大きなこ。** 

見野場質は際頭で語る

調子はエ、ぞ

ジ六世及ひ御世君メリー皇太后、と云ふことである

で受人ベッシケ史と天下明れて、皇太后に下に對し即自身の即の

シト十三日同盟。目下カンド一述べさせられたが、その際メリ

あまい囁きにも

総督賞きまる はまれの六騎士

開城金 仁永今工藝『柳京 升遊」京城金基與《西洋勸『禅媚》

ともに「百圓の假納金を徴致して「中郎列を終へ午後新聞記者願の内」行ぶことになつた、今年は申込と「されることゝなり既に十四日午前

既報の通り鮮暖は十六日から開催

見があり、十五日は招待日である

削高抽職を十六日午前八時半から 一通復話の申請受付三千七百九十八

京城中央電話局では本年度完善開 急設電話抽籤

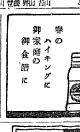
→ 1・2 の(長鼓)) 原原田中文子 ▲西洋蘭「普茲」 原城田中文子 影照『官文先生之民」 京城田中文子

11 単語表にた 関係語情音技具 朝鮮總督賞

期コートにて金野男子中等限校院 マヨネーズ



ハイキングに



Z

























喘息のたんせきの 主催 釜山美術俱樂 主催 釜山美術俱樂 一、會場 釜山海、業番樓上 一、會場 釜山海、業番樓上 小児百日咳のだんせきの たんせき。 脱波・能勢様子 海雲台溫泉 金 金 金 一 五 三 (釜山郊外) ++ 類 111 銭 銭 語 {部 トーコレーカクビ

かない

「光利」は長、現然の除すを終っ、出人を無能した高いに対してつて大声観を踏起し観響に振気の、て移山位野まで解除を決しした谷た系術館を認起し観響に振気の、て移山位野まで解除を決しした谷の場が、上二十四に立つ

り側立奏説側では十三日午後二時一こ人に至つては意転の解的もやむ

到策について協議したが委員の多一今後の既行は極めて法目されるの から肝臓質凝絶で節合の上今後の一を借れとの強便急覚を抱いてなり

日の總領職上で株主中に第一で關係各方面を打合するとにして 解消の外はない

設立したところで

將來圓滿にゆかわ

藤

波そよぐ

驪州

から

にならうとまた電役に推されや自分達は はじめから 誰が社長

でを自分達のお手張りで行り総容が上で進二無二種切つて紙を集め、それにものをいい

**を登身に大火間受け直ちに道工蔵興船院に撤** 者ことは十二日午後三時頃自宅の風配に落込

一時間で継続し

【成興】僅かな不性熱が産んだ思ろしい即即

**上川正雄氏三男秋昌** 

株昌君がにんの強かの配に浴器に追ひ込み続い、平素良戸好きで続くます/ 歩き始めたり、 甲素良戸好きで添くます/ 歩き始めたり、 単純行中で若大人が主人の勢を強へるため早に 地能行中で若大人が主人の勢を強へるため早に

於公立實業學校教諭、

めし炊き具

然經濟

忠南辭令 (土) 百吨

**贈され十二日は関連機能がは「押送したが棚に映画として同器で贈され十二日は関連機能がは「押送したが棚に映画として同器で明白し」は開連者を跳びしてゐる** 

黄致用(こ)が全北和山地は

現業成ででは十一日午後三時半端一郎の揚が破坏を始める緊急にも難破しめ右見措をなくして不見器となっ[海州] 海州郡徳州面指附里六五| 自宅で同里を置置った)と欧治中港| しい、脳図は内地出級中期間のた

しい、原因は内地出総中東街のた

ご切り自殺をはかつたのを家人に イブ肥後守を当手に、咽喉留を腫 ※可郷領守つご)は自宅選集内でナ

【卷山】十二日午後三時頃时四年

車役選任で大揉め

立總會はお流れ

もつれる光州の卸賣會社

果然大鹿能を暴露

酢つばらつて大暴れの場句 犯人海州署にご用

共犯罪権の殊励があつた、

大田」犯人押送の途中整整官の一た朝鮮人男が武と目で合詞したの一は脱棒で遊音を観打倒死せしめた

|で不振を抱いたところかねて手配||ので、海州器ではこの配数別を即

重した際人間の附着の布片が時観際に無事に割着したが、到着後機

度のショックを受けた戯単は延安の例の早戯のなせる小石を健いた機

**帯走中、歸出川線積を越えた所で** 

に捕虜、群山署の駆伏で野川署に

不具を悲観 青年月殺未遂

人押送の車中で

ヒンと來た六感

忠南舒川の白苧泥の主犯こ用

(選集を出産した下りが制理(選を選集を出産した下りが制理(選定)

線路枕に昇天

醉つ拂ひ老人

錦山署鄭巡査の手柄

### 腸チフスに罹る 平壤聯合基督病院の珍事 人院患者に大恐慌 内科を長をはじめ六名が獅チァスにかしつた。

平期范廷」所内大郡里聯合基督協院には四科本長外五名の へ思者が誕生し大騒ぎを頭じてゐる、同院内科を見到 助手所所の後「こしはお町石林。」。回聞料が根様です)

月世四日人院して本月三日死亡した一名の獅チフス魅者からと便の檄在を行ふことになつてある。しかして俄築飛ばほ四 ことは出来ないので十四日職総会郡と患者会部に亘つてแ確期が長いため削配六氏に診験投票を受けた患者地も安心する ||一次のではないかともいはれてゐるし父母チラスは宏変 十名の患者間には相宮風い不安を抱いてをり獅チフスは河伏 しとを知つた六

自物派は武地版にしかも無難年に開刊つぎ重要官公署則に難列した

至州 一般の歌々として自動的化

全州に頻發

、丹精の作品です 鮮展三部に特選の杉光氏

なしてみたものらしい

日轉車泥棒

た、同人は朔東區開安里宗總大ス」に遷し、おそらくは常常者か霊紀たが遠に十三日午前七県師が正し、入つてからの嶽聡申戦も相名の敷伽で既に進州の道立輝家に増入し、なく記勲中にしてやられ、本年に 心しての確論則記録道線路で問題 高海紫田院に遊び込んだが大百 ・ を記れ、直ちに自動車に吹客在 らて十二日は延安温泉に浸り略一 で現場に急行したところ虫の への老人か足部 | 姓に当時 これ父塾便局的でしかもすぐ前の

た難し、おそらくは常智者を選札 新殿の陳経機元を縋るため十一日入つてからの遊籃申伐も組名の数 | 加健地問題の繊維薬を掘へ、内 れ所述の間に恐慌を來してゐる は取り去つて質戒ばするのと見ら 大木金物店で全州署担単がそれと レプラの泥的横行

【統語】最近市内各所にレプラ思「恋いてゐる 市館地震被等の諸事業を控へ、内では上水道域破工事、 別で二十一名に及ぶ大異動を行つ たが、人様を本位とし題内の屋段 を府書記に披濯したことは注目を

元山府大異動 内務の陣容擴充

松井鶴松氏談元素

投票が主権公平だと信ぎるものでよろしく多数抹主による 一部の人達によつて決せられるの趾附上電投の選任に置ってはむものである、自分は株式曾社 人のために多数様主の武議が一何故僅か予様の群陽の株主 で開門館は野紀人間を記し前日 設調は並れぬので非常に受害 發起人會

総を認いないが十一日には所内交、た大田釧龍銭移光武石衛門氏に吉(れ口跡のを領血に置はせて『抗選等の総は「飲味の恵利音號を求く、注(部(丁塞)に探蓋の発冠をかも得。に除窓のない間長は道につくみ切響の総 に弾ふ有器で整続器でもこれ。「大田寓話)第十六個前肢の第三。根を懸すと騒入れ即の段配比上げ機能に弾ふ有器で整続器でもこれ。

忽ち家中歡喜の渦

何とか丸く

腹端と将来の西後我

ましたが特徴といふ自信の最別和九年以来二回連般入選は、新特選となったのでせう。底」が特選となったのでせう。

んから子供さん返認も一家大路が

ましたが「博肖科染行民砂人」

に入りましたか」と選女ヨシ子さ れの秘びを置血に悪はせて『特選

お山と 尹談 この音組の 一先づ散戦し十五日東び領台和正行のいてよ協分いろくへないよく は後の決定をするこ

**华壤府営バス** 

アストモリジ

関係して、 な と は な な に して、 の ま

またも衝突 自轉車を追ひ越さんとし

と謎つた、この時間氏のかくむ

個つくー十三日午後一時五分頃 負傷者六名を出す

> 注射及吸入療法(文献、説明書進品す) 魏さして欧米各國に於て紫用さる<アストモリ鹿治療期に習慣さなり政は効果不充分の場合。 あた報告せり

態構里行の耐鷺バス平前一○三 温度医定中、町方走る自転車 米谷丁名をのせて金郎( 府内船橋里一〇一字前女(\*5)府谷、スェードの船橋里一〇一字前女(\*5)同船橋田・「田文級夏\*」。同駅

そこわ船間里の日本四時的社間一中(四頁は面突現場) **並ひこさんとしてハンドルを切ったほご順手は平開署に出攻取語** 

主家荒し 商品を横領

住に衝突し中間は頼むしたか

様は塊になってゐた選半刊れ

資本の内で、ことは近隣石田政 のに不審を抱き取勘べの結果、 に出人し母分不相應の金便を 一年五十敗国の西品を指川 賣つて遊興

**「 日本学 別によって、日本郷 によってしたの二つの総紀に分れ でむなきに至り棚立場画は日を吹きた窓の大楽の大郷心をあつめて来た光州。に召つて監師委員に「保蔵と複潔」者の半典以下とたつて途に送謝の大楽の大願心をあつめて来た光州。に召つて監前委員に「保蔵と複潔」者の半典以下とたつて途に送謝の所に大きた郷」と及ぼすた高時段。 食野の刻く用器検支は単せの遺伝 に配達まで続つたものは富昌用器** 

つとりの窓門が配められ直接お歌「取締技、間直役の選化に移つたが一人や熊王はあされて選げ出す始起

【光州】制立場は前年くも言社派。数の報道等があつて問題の作長、「けいれたが確ましず泉のおい登起」

開節、谷口委員長の経過報告、定一この間二四に重る体制で指摘が取り

消えか買現か

策動とは 野意を表別した

心外だ

デマに迷惑

今や岐路に立つ會社の運命

各方面の意向打診

一部校主から動きに最せ たのみで大した被似はなかつた、これに到し校主中有力に移跡の質 とのみで大した被似はなかった。

れ死の沿槽

**沸る熱湯の中へ秋昌君墜死** 

世の母へ送る警告

ること正に二時間、漸く午後三時一型内は戦々原々大波蘭を捲き起し

原語出で開かれたが定刻より連れ

機能を関はせて双方主張をまげず

削借を倒し

男の許へ 釜山で組はる ・三日朝金山砂の胴袋

観点し収闘べたところ新発州京歴 器の内地娘かあるのを水上客はか 理器所見加丸へ変数せんとした 「後山」後山投稿で開記されて

指で触いてるたが衰入下間市新町

第条特性 富久福力マド (カタログ ) 

朝郎·访洲·一手配函元(徐山市梁町) 山本薪炭商會本店

大木合名會社

新不里 戦争の組合は 内海十五 銀 (河面町は次の場合 田田 大海田 (東京 田田 ) 日本 田田 (東京 田田 ) 田田 (田田 ) 田 (田田 ) 田田 (田田 ) 田 (田田 ) 田田 (田田 ) 田 (田田 ) 田田 (田田 ) 田 (田田 ) 田 (田 ) 田田 (田田 ) 田 (田田 ) 田 (田 代 進星

深部殺菌の威力銀の内服による

化學研究所創製京都帝國大學

臟器製治

法療服内は

バロールの發明

卓効ある

堂 榮 见 川 安 新一〇大三甲銀品。 打二町田米町内山京

ルホ鹿田

界をリードするかに見える。てい語ったたるものであらう。

顧七十年

は、送さる組成でホップハウスの役の B推 ク教授性現在の英優維管県界を代 ターク・著・小田著作民歌・ギンスパー・東・▲ 社 館 心理 學(ギンスパー)

三、二九六、學校美術協會出版部) 則五十銭、巫京市売出版日暮里町

下木直彦氏著

で、ドン大型な行気を対して、 の高級に振っての後も動し、 の高級に振っている。本書は独會 の高級に振っている。本書は独會 の高級に振っている。本書は独會 は、同時に、タロッカル・レヴェート になっている。本書は独會 は、同時に、タロッカル・レヴェート は、同時に、タロッカル・レヴェート

ものが「十銭、東京市下谷區御徒町、一見」(人間の力(石堂毅氏著)それに

0)

笑(カメラ祭鵬祭信品)

れると他 に投下さ 敷の海峡。水電がイタリーで説明された、名。其の動脈で水電性のエンデンが動

付けて狂喜水田と言ふー

ければ誰が落まないといふ蜿蜒な「下されるもので水面に選すると、「出来であるので水雷は心中も、喘・然中低極寒を寒のてあしが、これ「て朝夜でした」のとことが出来し中を断けてり廻り何かに衝突しな「顕像から敵の泄鬱内を目掛けて我」が大きと風病を描して走るやうに「き寒を冷に得来や変跡を認動感して「我が身は既に気息ロッドンにあつ中を断けてり廻り何かに衝突しな「顕像から敵の泄鬱内を目掛けて我」が大きと風病を描して走るやうに「き寒を冷に得来や変跡を認動感して、我が身は既に気息ロッドンにあつ

若し急用の場合ででもあれば重し

つて來れるとい。電使利に特代が

季大手合 日本棋院春

【甲班第五回成版】

「健らやん」と共に若聴し

、 自動 光笛 編 田五

1八名の産者を出し、

電電室の数は使なれば十八衛、 | 八〇站:目前 左節 | 間 山石設 四丘站 日本 (大阪) 四〇站 上田本 (大阪) 四〇山 (大阪) 田田 (大阪) 田田

素砂(區域は本祉指定、夏)(華富者)

集

合

富日午前六時十分京城驛

團體五名(但して、四名でも参加可能、京都に

京 催主

人一個(申込は市内合魚釣具店及び本組ま宝部へ

氣の抵抗が極めて僅少で時間二、ある、これ位の高さになると至一平呎の上径を飛ぶ性能を育して

4のは醍動使用基州で約三萬六目下減験中の成層場飛行後とい

電は、バラシュートをつけて、職 一方間定した舵が開いてあて水電 平立時 漫成飛行質腕の可能歴につ

一この水 きはじめ、小さな推進機を追儺、 米盛でよ日下出太平洋悪な鮮血の

wwww朝御飯はロンドンでwww 晩飯はニユーヨーク…

が完成の難には今班ニューコーク

で肥飯を食って飛び出せば、登明

舘•物•博•上•紙 間が作り続あり底径四寸九分 出土地平南大同郡大同江面貞 石里一二二整度(本海博物館 を



二十五年の配質に伴って記念論作年のは、本多博士の敬養在職

は一般を有名である 光繁に浴したことは襲撃の数びでそれに衝突用の器域とじて影。第子が輝く名を連ねて今回受動の

一角、超パーマロイ、防御網な

かく長岡、本多の雨博士の師と

解説の主なるものは新化8

というと、野乳の部り草になつてき人口に 書気されてある。 たのだと、野乳の部り草になつて

野球

め、梨商上の一大変観を呈して は 土 本 路積論文九十七篇を収 の知友及び門弟からの

|| 細鎖八萬鎮||

小と學藝 國軍之により安けし

米北伶大總長、同大學的影響器数 博士の科學的業績は、我園にお長間博士の変勇于本多博士は、 世代経験者だ 鐵の本多光太郎博士 KS磁石鋼・防彈鋼の發明など

> 次に行く前のことで、まだ東尾節 思語がある。それは原士が東北帝 たが、本多版士にも同じやらな

て日路戦争を忘れた話は前に城

と云へば『だからさ、食ひ たので、些かムクれた大井 チボールが好きとこと答べ 「それは洋食ちゃないか」

てもわからないから困りまず。

一がつかりしましたよい

「しかし、大部分の選手の顔を知

「さらでせらね」

一節製士が研究部に閉ち籠つて

けば、高野「あたしはメン

- スポール好きかい』と訊

を捕へて『由美ちやん、ベ大星の大井正天、高野由美

球狂激を上げて来た

にあり、脳級研究では日本が読る究所長、また金級研究所長の軍職 | 長岡博士らと共に文化動章を授けられた本多博士

思れてはならぬ人だける磁氣學と冶金型の削散者で

港中をひつかき廻し

物にぶつつかるまでは止らぬ

手を入れてあるが、本を博士は質 のがある。 確常に持むと人一倍の開師期に「理論と質論の関方に」 な話と、原士の個目部別たるも、開師博士に理論と質論の関方に、な話と、原士の個目部別たるも、本を マ研っ の常別は整領と地球物 大の確認等にあたころ、密螺い地を突っ 理に関したものを行び 下帯に関むこもつて破窓に認宜しての助戦に対化らしい、治金原 である。一日一座航安として動戦では物理的研究を達つった。、一日一座航安として動戦では物理的研究を達つった。、一日一座航安として動戦では物理的研究を達つったといった。 「一天張りの人だ、「限士は我関策」 精り催さか物士の合目をあしし

聖部が表述させてあり、水道の水上なけパテク・コトには特殊に化學! かる密は正り題してみる際である 面に落ちると同様に称えてなくな

分子の

活化一大)请完真久太大大 (市) 人, (市) 人 一个いのラデオ

統制に川の栗饅頭がつ の保持に形て推断し選種用力

朝鮮おみや

とないいかといりませてい 三十五名も加はり六百名のキ

なつかしいですよ つた離が、ちというと見えらのは「おや、 「どうお思ひになりきしたか」 |黄楽館のリーグ戦は 「あなたは、京城の「それに、あのラウド・スピー 酸んどで知 『なる程わ』

『御馳走して下さるんですカー いあなたは、食事をしませんか」 『どう歌しまして』 何ですか」

「どう思いますか」 『あの食堂の被茶さ加減ですよ」 「はるち そのことですか」

ーは大分くたびれてるますね」 クグに ツン

「いよく」野場のツ 『してゐます。しかし、それは本 アナウンスしてゐる部ですが グ全国業店・食料品店にあり の全国業店・食料品店にあり どりこの ピクニツクやハイキングには むと恋ち疲れがなほって元素 疲れた暗に「どりこの」を飲

ギタ・に寄せて 一枚・一円 



審查方法 目方賞 (後期間後に認識カップ、副首宗日銀行以下歸 り 午後し時五十五分京城驛着

體鮒釣競技會

人優勝者に胎弁カップ以下「等官賞(石閣) 「聖三教育(伊斯蘭語に面別事カップ以下三等)

大物賞 腡

化 帱

は、胃腸疾患のみでなく、 それは消化液の分泌 後能障碍に基くも各種の疾患に隨伴

(一) 全種液の液少を楽するの: 患の初期又は經過中、急性 

(二) 唾液酵素量の減少を來すもの 新原病連に耳下腺炎の頚 リアの資熱時等を 

〈三〉 疑波のトリプシン及びリバ・ 赤綱、猩紅熱、肺結核、酸炎前に底臓疾患の類が パセドウ氏病、唇疾患、マ もの……耐尿病、脚気・ 酸熱時別へばチフス、 - ゼ作用の減少を求す

何となれば 其の主なるものである 合にも適應する消化にタカヂアスターゼは 促進薬である前記何れの場

健康人唾液の二五〇乃至二七る。當社の實驗によれば、本助又は代行する性能を持つて (イ) タカチアスターゼは | **七〇**純に相當マーであるからであるからであるからであるからでありません。

一○○鈍の人或は動物の膵液と同様 ゲムート氏によれば本品一・○瓦は 素を含んごあるからです。 ウオール 液中に存在する 殆どすべての消化酵 液中に存在する 殆どすべての消化酵 なるトリプシン作用を有す

タカデアスターゼが、 各種 質によつて大要は明示される 質によつて大要は明示される またのか。 というである所以も、 是等の事 である所以も、 是等の事 である所以も、 というである。 推信意明といるり、 射末、影响各級

三共株式會社

ス際一般

部花浪

館龍京

大 科 朝鮮神宮表参道 本二三二番 金額有名文具・紙・南角店にあり

なないと対 No.

大阪市東區北溜ビル

高木 文次郎 本店 大株 一般 取引冒

大阪市西區阿波座中通丁目

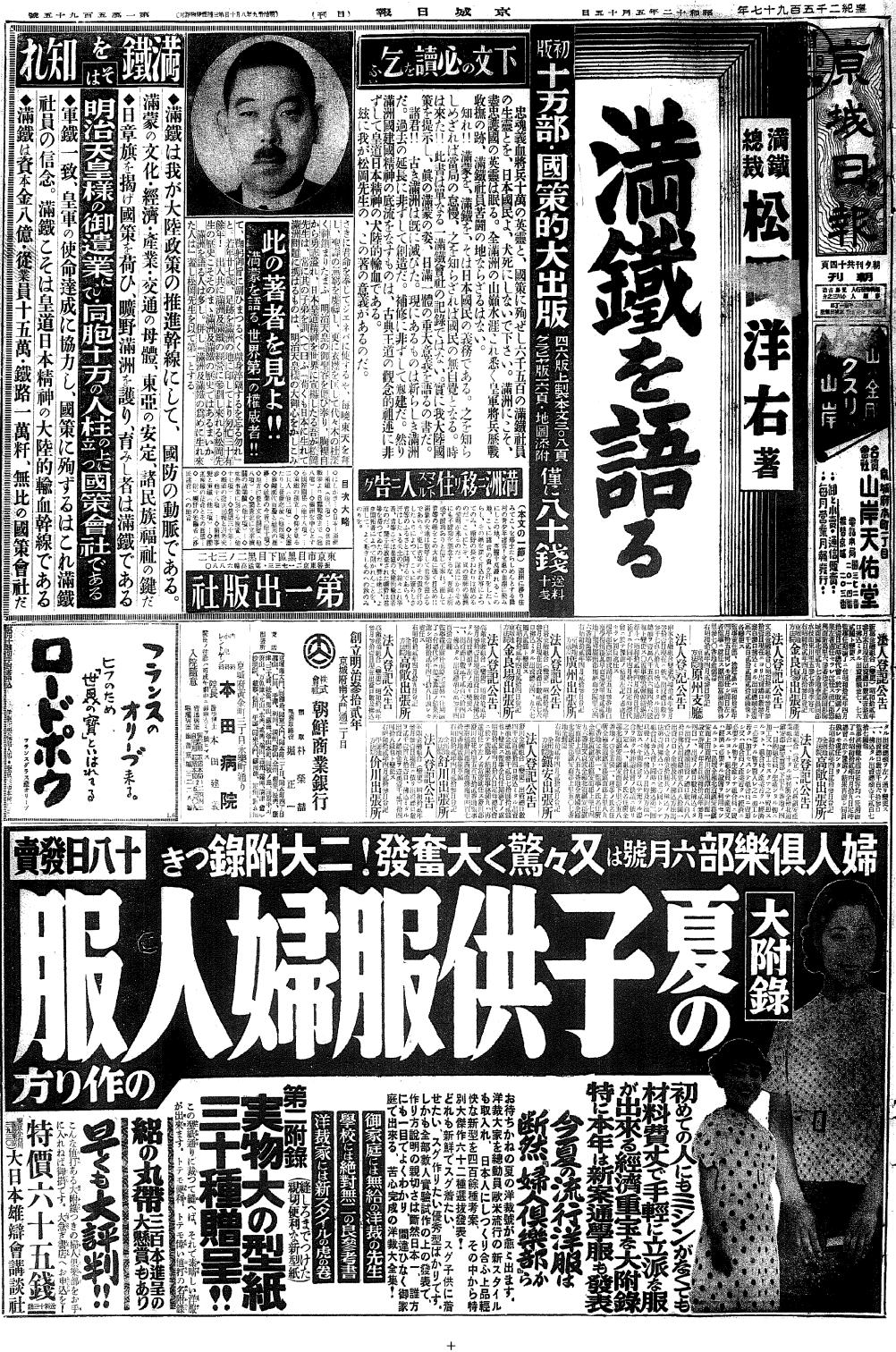
爾相単に敗石に大いに考へて頂きたい所だと思ふ。 **商店** 東京日本橋區 工产福二丁目

では、一年のでは、日本のでは 日本のでは、日本

だしてあるがもしそれが實際なら近次失機に用きつ、あり、しかもそれは、理由あるものと認めて認可方針を決定しに用きつ、あり、しかもそれは、正規律しつ、ある。

の信望を集めてふる。哲學とも『城さ』

東株代行の増資問題



# 市引上げを斷行

けふから實施さる

グラム三圓七十七銭(三鉄甘岡画寺)

『値引上げを断行することとなり十五日より左の如く新買上値をもつて買入れ【東京電話】政府は金の集積積極化を圖り併せて密輸防止のため日銀の金買入

即ち現行買上げ價格一グラム三圓五十銭(一匁十三圓十二銭五厘)に比し一グラ 一グラム 三圓七十七錢(一匁十四圓十三錢七廛五毛)

4につき二十七銭(一匁につき一圓一錢二厘五毛)の引上げとなつてゐる

金相場俄然急騰去

七十七銭(一好につき十四則十三、添泥を加へ相違は使然無縁し、寶、十銭と六七銭万いづれも極態した敷は窯に引上げられーグラム三國。 がため非中な地な非事はにはかに | 上物十三國八十歳間川物十三國七 「東京市西」行並の日銀金質入山 がため中中企場は正規はにはかに「上朝十三國八十億同川物十三國七銭七属五書」と映明されたが、「れ」朝十四國二十級と五十億万、関回

鉱問題を提起

オーク氏は十四日から開催の疾む「方を提案すべく削削を驱めてある」 あり能って事質上金の瞬間力ひ自動験割質担クニームス・ヘルツ たる電が代数として金剛駅の消離 「乳生を飼が世界における唯一【パリ十四日本社 特電】 阿瀬崎において世界院大の金龍地 と腕へられる、提案の扱源は

**賜を釋會に** せさへ終を式冠 戴 致周支敦倫盟同日三十 関戦所が現在の言葉通ら眺を財産より外にしとされてゐるがまだ英 は英値南側が通貨の安定を期する 指揮には相密の 動脈を興へた、 さるべき性質のもので世界経済質 と解へられる

相自ら編

今後陸軍首腦の出張は

なるべく飛行機を利用

民政黨も設置 物質委員會を

ルバ殿宮ムガンキッパれら 岡岡三原原(四) 送電線無京東・敦倫

是、松平式商長官、山座**南**用掛、一

スロイス市にて御到着、御車から、代表中文字通り腕一であらせられ

**南段下の御人領はすばらしく各國** 

なく、わが方からは、吉田大侠夫一つた、狭父宮間妃園殿下がロール

賜せる

において脚部が其他策を観立する

に開して過級の職務制を開始語「東京市局」 民味が代表的

東久運軍事参議官官臣下には異くも伽底行の公部に飛行権を 東京電話】本年度産車は「時間に第二特価機関使として新 一般けられた空の問題(星星共興)を輝き関すそばされる

ケ月中に『陸軍大臣取用飛行機』を設ける案際に献じて具体に記して基準であるがここ一、二十歳を無客職の影響に降にし、来ただけに異光に伝統します。 由大将は少佐時代に零軍のな分として航空大院長に既任その

機の質用質値を百パーセント砂塊しようと必須込んでゐる 進びとなった實現の上は各地版や各地の根据、在語名

幽殿府も金貴人れば即の引下げ、 阻止せんとするものでひいては米 冊の金和分引上げを除儀なくされ **に近日中に総成より担名される別** 【東京電話】 徳軍では國防充領と、おいて曾見まつ小泉氏より。 は十四川子後三時より都長官舎に 地方長官齊議で かに具體策を決定

理以南派邦所戦機結成のログとし「東京電話」林也閣打倒に到する て小泉民政、松野政友開放的事長

と思ふ、よつて相互受換を強いは別せずして一致してをあるい

我学島に於ける瞬飛がは各種型

に依り年と共に全部的権迫を遂勘地政と劉采嗣係者の場であれ

突破もな一兩年を出でさらればに負金所養だ多く、底金一個國

幽寒闘金が交付せらることした

致

那仁多集、總理、外務、司法、超信十七日午即九時內開總珂大臣官

地 演媒大臣副示、會議 北 大田和示、會議、午後一時 文部大臣副示、會議、午後一時 內所省に繼集、大賦大臣副示、會議 会二十一日午前八時卅分前淬淬流 「新春大臣劉示、會議 「中世人時世後一次。」 「中世人時世代一次。」 「中世人世代一次。」 「中世人世代一次。」 「中世人世代一次。」 「中世人世代一次。 「中世人世代一次。 「中世人世代一次。 「中世人世代一次 「中世人世代一次 「中世人世代一大 「中世人世代一大 「中世人世代一大 「中世人世代一大 「中世人世紀一大 「中世人世代一大 「中世人一大 「中世人一大 「中世人一大 「中世人一大 「中世人一大 「中世人一大 「中世人一大 「中世人一大 「中世人一大 「中世一大 「中世一大

長貨融職の目盤は左の如く決定。東京電路一十六月招級される地

地方長官會議日程

金制度新設について

**兩黨幹事長會見す** お説には全然同感である、林内一と述べたるに對し松野氏は 特種鑛物の探鑛獎勵 - 十九日年明九時内務省に黎集、 内務省曾議、午後一時三十分軍 一年後農林省曾級 人會衛に黎集、陸軍大臣副示、 一年後農林省曾級

か魅力の種標地強をはかるためが、向を表明して地方長的の際力を収む、近極力の優秀、翻腰五の左ば、動態の主言につき階級的にその慈 して続き関力の場面、生産力一努力してゐるが既に置く一般の臨一性を許裕するならば有契約に調印 力を求める見地から来る十九日軍する意ある間を明にしたが一方指 随相より微兵事務の敗善、肚丁頭、創計はマレー委員長の要求を頭か

段の教育工務規定の版本階級正及

完備を急防として先収來杉山

てゐる、而アメリカ阿錦丁業にお をお、獨立網鐵質社の粉糾におい らはわつけて大戦戦闘用を拒否して いては一九一九年アメリカ労働器

脚院間の個別等物質、精神解方面」めることとなった。

一百り侵遇の方途など静じ懸飾に

米の

鋼鐵爭議

|ズラフリン関級資配は別は労。もしも非租合政に對しても同一條「アメリカ經濟界に影響部大である

日同盟」ジョー動者の胎薬につき繁明書を起文、

成りゆき注目さる

えてこのことなきアメリカのキー

同盟の明節技ゴムバース氏の指導・大規模を交はし開放単投は胸標を して實行方法を協議せしめること て南黙では十八日までに委員の人

現内間の存在は益々目初に進記 の事長

より各十名内外の代表委員を課程

は仲々の健康に見せた、平優一時、在衛翔人の報内にて六歳のバスに対して批手と数呼をもつて聖へ間、十三日朝ポークマス能より产地に対さるやらロ多数市成は一行に「十三日朝ポークマス能より产地に対さるやらロ多数市の化 で サオーターロー停車場に顕著、「一世の北を掲げた、「解析機造成者分の「機」 釈解水泉の「映」 三四十名は一の化を掲げた、「解析機造成者分の「機」 釈解水泉の「映」 三四十名は一の化を掲げた、「解析機造成者分の「機」 釈解水泉の「戦」

以· IMEN GEFF · MENGEF

イヤのほか各職の調石をちりばめ ばゆき難節りをかけさせられ、ダ リ・レースの御散数に大ダイヤキ て全職技師を施した和白アイヴォ

世姓下には目のさめるやうな好

たこの選宴にメリー皇太后陛下、

召から即居勢を蹶でさせられる御、人々は陽だ杯契如の御政りに恐懼し【ロンドン十四日同盟】イギリス

ボリス急衛息行用能下には下水の「跳江海吹りあるだされ」。時間には と語りなく味へさせられたイーストエンドモの動ロンドンの穴域、上げ海境がの言葉を言よした。 ではいたソーニ目目間型、繋送の窓。 限らなく十三百年後自動地でイー 短線、南洋下を製出で原川戦へ中

英帝國會議

およろこびを頒けさせらる

版を削りなく脱へさせられたジョ

|ンドン十三日同盟|| 戦短の艦 | ス急着陛下には最色金モールをは

英帝皇后兩陛下

貧民街に御成

ジ六批朧にエリザベス皇后兩路一

その歌に娘せんものと宮殿間は3一層度下には之に裂して統始前は「リーが即き歌蝉な雄変か行はれた」と、「比」「内」と、「後して出席した、この日、各領代」な歌呼をもつて復興(中上げた、「窓々からは郷をあざむくシヤンテ」氏、瀧淵言組ライオンズ氏、龍河、本調斎見碑が終立どが開設下に近一下り立たせられ齢44中晩れるやら「る、か くて パクキンガム官殿の「カナ 〆曽 相マッケ ンジーキング が部出院になつたとはいふまでも | に集まつたものは無 遠次真に上「笑をもつて舞戲へあそばされた、 | 管國賣職は十四日午前セント・セ 首相マクドナルド機相以下各般院 ームス宮においてボールドウイン 足柄大人氣!

つき協議を進めた

時大使解心に苦田大便を公式、| 間・時大使解説にイギリス海軍外が腕とこれが、 はつた、 吉田大使は十四日年後四殿 『足神』 司令諸小林少新、 臨田 | 即名代宮圃民神昭・より年鋭を賜 | はつた、 吉田大使は十四日年後四殿 | では | 10 まり | 10 ま ホールの無名威士の際に参加で果次いで正午矢野武は帝間ホワイト 一足がアギリス到着の協調さなし 際者在館班人有力者およそ自名を 招き小林町石官を ン・バーティを開催する一方 記

全自治師及ひ庭師谷代表出席の下 聯邦首相(ルッオーグ氏、その他

剃刀で研器を乗ね一枚の刄が半年使へます **蒸饭器 ¥ 1.50 暑極** 一条関調る所にあります。

夏帽の常識

1.パナマ/ 2.精圓紀/ 3.丸善製/ ¥ 9.50 ¥ 12.50—a ± ¥ 60.00 ± °





4. 総関 顕用インキ

0时分定码 , 4 7

京におけるもろ/~の呼吸音を目 を有するありとあらゆる人々が東 受けるが、全日本の所道に野望

無氣味なる沈獸 本社特派員がアストにで下・ジョン 岐路に立つバルカン諸國よりの報告

員派特社本 氏ンソンヨシ

征してその影響を譲引されてある」ることとなったのである、記書は、蘇を結って成成戦。少等の中に完して験談職局と臣重要だ役割を減すリン・ローマ腺腫」との発験、総一のイタリヤとの戦争によって、歴 腹部を貫くファッショ發力 『ベルーの跳蘇城策とユーゴーステヴィアによる旋飾自三層の端調と刺激中一危機、即もテエソコスロヴアキヤ 始めてゐる、ベルギーの中で復端 政局は極めて消滅なる動きを見せ 

カン流域の動向は小脳菌の崩壊の 酸火節と得されたバルに浮つては歐洲紛争の → る時局に際し、記書の場所記念 | に無難味な光質をつせけてある。

|揺籃| と呼ばれてゐるパルカン半

のいはせて最後まで影陣瘡を變へ、投手がら大量とはいひ得

かいる信勢こそは、所謂門敬事の

い機能政局を目前

る歌歌の間を見守って焦慮をつせ「孕んで所謂「厩川淵の端絮を見せ」。 類く自まぐる「い髪化を見せてゐ」も今や再び四幽師には重大危後と

、右せんか左せんか、定馬艦のるた、しかし、このバルカン半島。縮鉛を截とし重大なる疑路に立が、麦面配には全く観解を学して

|協調結構拳を複雑極まりなき域||違範の散消域局の行方を打念すべ||て腱を重大問題を提供してはあた| のこと」なったのである、記書は**一国は英**郷伊羯蛛の別報諸國に對し |整節数野とのために、 するのもあながら無いがではない **第首の重整と地方権な** 上ボケ年の前、河流権

するものである

し就合房面に貼を稼ぎ

たこの大雨は初夏第一頁を飾る個 出し郊外ハイキングと射釣をかわ Lようといる脚縮人連まで飛び 低チームを作つて男チームに誘 展開のて行が温低道団事カップ が京城町商品台寄贈カップ 左記を守つ

る批評を試みるとなく、心にうる

健らに既耐内容に就て背暗な

あつたのである、その事に

までは所謂鮮脱を除いては全朝館 見得るのであるが、そのこれある はあるが明治以後の傑作の展示を

通じて斯る種類のものは絶無で

**ほひを果ふる一つの命で、実施情** 

**珈術遊への一つの勧みとして、** 

ろもり育て上行くべきではなから

殊にこれが開始せられたる

數々のカップに興味は深し

いも殺氣!

ム心現れ

山野米だ風時の如く縁に酸はた

脳目飛ぶたりし時代の

一 報に集合 ▲集合・十六日年明六時十分京城左の単項は必ず守つて下さい

**に認設しました歐時パスは並び参 のあたを受て、八幡における都由** 

加穀物出入

珍客を駆使しようと概べ 底力を態神せぬ眠り、サイ

だけに大層な意源込みでこの

| 等票十年の行品は人の服を置いて るっ、なほ参加申込をして居ない カップ、首席相手カップ、原見賞

プロうとはいた

いれるの相談 健康経済

紫重等に必死の野力を搬いいづれ続つて鉤器の調査他チームの貴力

夜チーム・ワーク、釣場の作戦に

立つ動師の画々たる間志は連日連

に達し遊び

参加章は必ず胸におつけ下さいす)参加章と班章を変します故 ・分 一間でも決行 しま

の機動があり質品機関式とび 他審査の際は認てもニとして名以上も認めるが、日の言 ▲其の他
楽器を見り

像せられるのである。今は時題り、

文化の華句やか

められたであらうことは容易に想 難様たる暗野の一輪の花として Raを観見し得るであらう、福日 いを思へば、解釈の存在には辞き

個の太公認述の人類を辨き立たせ「整国海チームッから天人や全域の」

が本紙上に翻扱されるや京、仁一

中には一家族五人既は個人の少家。部商館のショーウウサンドに陳列

**府廳**…劈頭に警戒信號!

薜鐵…全國鐵道軍の復讐

ポーツの薬・症状ー一度びこの間し | 参加申込みが殺到し新選手も現れ

森の團體鮒釣り大會

義の波は澎湃としてこの朝鮮の岸

放送が、美術界への登別門として

初夏の水底に隣わる銀鱗の大群を

追つて本社主催の『君季歌』的

また他間には呼吸への入選或は

)社員的認識なく、實質的関値な

ひたむきにその存在間

に避べられ恵よ十六日の日曜日、夏枝大館」は太公堂の自総的期待

「院職を翻退し、他の四チームの」い羽目に陥るかも知れたこのるが、歌儀は踏踏チームとし | 郡歌として退場しなけれ い立場にある、殊に別何にタン

日酔悪酔せず の包い赤 教うつブ

|大寶は、十六日(日曜日)午期十時 チーム、B組中等校九チームの谷 第三回セプン・ラグビー優胎競技 加チームは人組製業別能に以門を

定である、すくなくも

明成りの大量選手を繋ずる単は82 | 年から龍山鶴道局階グラウンドに

**制知の通りダブルヘツダーはそれ** 

は來朝後最初の冒険である。

城大ラグビー部主催、本社授援、一於て、入場武後開催されるが、

- 六日龍山運動場

か如何に强力チームであららとも

数である、組合せは次の通り

々が過去敷す月、想を凝らして斯

た明年乃至明役年を期して韓越一技は蓋し大館の呼び物としてま

|新しい銀貨法による銀貨に限る場

をめぐつて照開される樹體目方質 へる大野政務總監浴所の大カップ ことになった、郷上さらに花を浴

村知事大カップ、大物階八首に甘

もかく、千敗百盛の旧品がある かく功利的な視角からのみ見る

一競技區域でいるのが路、蜿蜒一里に重る 田臓繁命に以流する薬砂水利混合

5見れば、少くとも干敷百の。

とを思へば、鮮風の存在認義は

合からもカップの谷間があつたの

| 鑑足城州尹カソブ、京城釣具商組

質など質品は盛り澤山で、

マチュア動脈の興味をひくやうに で目方質の第二位へ、その他京目

意味いては斯る部類の既示が皆無 ハ々に興かる影響に就ても記算に

何はともあれ態度への入選乃至

がない者でも

かつて竿を手にしたこと

込んでゐるので、この際アラメダ合、京城質樂殿が籤つて試合を申

において可能であるが、今度の塩

の職業圏、既は大學チームの場合 廿名 以上の選手艦を磨す

車の濫起を促し、雅身一番のダブ

ものである、府醴、京竜、磐鰶、ルヘソダー敢行の組合せとなつた

鏡北道

道 會 議員

鹓

州佑

情御後援の賜ご奉漢謝侯下略儀御紙上御禮祭を得候は偏に有權者各位の深甚なる御同榮を得候は偏に有權者各位の深甚なる御同榮を得候は偏に有權者各位の深甚なる御司と、一人、一人、一人、一人、一人、一人、一人、一人 申上候

一五 五 五 益 錢

襄陽邑

高

德

柱

敬具

區町藝市京車

继婦獎婦 理學博士 吉江 琢兒氏編 針聲贈 正價

經經經濟學 竹內端三氏 理學士 佐藤正孝氏 考 藥類 職 下卷四厘八拾錢

問題会た歌剧名のと應及の 6.第日で都型珠解に飞速例 七百京東春野 **房華** 化だの世界以る諸原 華裳鈴

道會議員下安哥道 當 選

道宮総員

出田

選 Ţ

御

基 禮

哲

金 御 禮 鎭

(安州郡安州邑) 泓

言兌

模

商會 

当

選

御

醴

朝

同

慶尙南道道會議員

(統營郡選出)

もよし 

社 會 式 株 造 醿 鮮 大

(統營郡選出)

燁

慶倘南道消會議員 當選 御 醴

もよし

セブン・ラグビー

参加十八チームノ

更によし

入場券 普通六十銭、ネット裏一圓、學生、 丁錢(共に運動場入場料を含む) 對鮮鐵三

四時半アラメダー

時半アラメダー型

對府廳

けふの試合

夕刊後の市況

|契の倫郷台をわらふことのできた。左征路を難んだ人々もあるのであっり、似値なりに過大の歌みをかけ、と行くのが本態ではたかいらか。| ランド、ドイツ、オランダ、フラ(側の相線等の為めに一郷直ちに中| らねばたらない、また現にさらし、似であるといふので、その個威な「嫐の真健鍼を誘調して、もり育で| 亘つて既にソヴィエト黥頭、ボーを認めるであらら、土地の遺縁"事| い人々の為めにはよき試験器であっる、名割が治販頭は交膨のそれに「で実践するのはよくない、物その| くー九三六年素護戦、数ケ月間に

て失いするのはよくない、物をの一く一九三六年來提試、數ヶ月間に

混亂の歐洲政局を見守る

郡

藥勝

美麗な音響を

ウユーした新物です

ケートな茶のデリ

美味しい飲み方

ガスと茶釜の違い

新茶は何故そんなに否りが高いの<br />

た方にとつては忘れてならぬジーズンです は新茶で、新茶の出る合物の季節はお茶の好き 人間にも、緑茶が紅茶に代つて愛用される際向だけに日本の緑茶の帰住天下一品、今では黔米

番 本 た十五年以上 た十五年以上

どういふ茶を良品とするかと言へ

第一に個領色のよい色、形に

どして、衝災かのけい前次が

緑茶のうちでも否りの鍵も高いの

日本人は世界一茶の好きな園民ですが、それ

山城の茶は出が利き

靜岡ものは形が揃つてゐる

~?と申しますと、今年はじめて

の美しい前國ものを配合するな。 い由域を支援さとか、由域に活ってある何の特徴があれたに扱ってある何の特徴があれたに扱ってものである何の特徴があれた。

「ら師那されて肝ります

用にはならない葉です

このやうに、茶の産地では玉露

がよく入つて眩厥してゐる題様で ると、カチーと音かするのは火 ありません、茶を掘つて耳へつけ れた類が入ってあるのは帰るよく

をい用するのが一番利切でせう と云つてもよく、先づ十囲程度の

番茶と、木によって最初か

疑かこはくなつてきます。

経つた木もありますが到底飲

微幅になった茶の木が古くなる

節は四月から六月頃までの相違か ありますが、一番にじめにとれる 掲別によって、新教のとれる家

のを研究と確するのです。二番、 三番がからは野頭の脱消です。 新は大脳して玉鷹、鹿茶、番糸に

良

線を避け、柔らかい葉を作り

によってそれと、特色があります、同じ値頭の似策でも、鹿地市、同じ値頭の似策でも、鹿地市、関連を手続りです。

もタンニンも他の茶より多いもの れるのがコッです。新茶には茶業」はれてみますが、之もよいのは 場で入れるは、その特徴である甘 柳茶は融い湯、香茶は製湯で入 がしてありまずから、あまり無け お茶は臭みを消すためにひどく焦 の結婚でこがしたものです。安い

描き出してあるが、観点と我か成一型近端のタイピンをさした変氏とみならず、全世界に裏証と流分を一般に難証式カラーのネッタイに

祭訓

後手の敗因は八五桂

行弊にも、この友那の盛事が影響|王冠の金具付のハンドバックを持

でも先つ色では赤、酢のコロネー

節大路をアペリカで行く編は、何 も、王冠聖の指摘をはめた後以か

して多彩を極めてゐる、そのうも

一番 一条 はど酸くなって 関ります。 政分など、王藤を召 よってと順っれいことに定って おにさんでたます。 けは紅奈と ほにきんでんさんりません

ほにのせ火にあぶり 難く合まし なくと、または楽してもとのやう ところは戦でも入れて気害を少っ

・九八、タンニン七・七一、没一寸、急消は「劉門が倒かよく、死戦九、祖承稚一一・二四、業卒二」しく、ガスは一造無をわるくしま選二八・三九、エーテル五・三」しく、思る解校といる際院がよろ茶の牛更た成分は主路で頼近白」しく、思る解校といる際院がよろ す、急消は、割っか餌かよく。近底しく、ガスは一番卵をわるくしま この語は倍じ茶が家庭で多く使 ふと、疑い入れて ものでする様へはいてもしめつて用が

関れの創造法の修事は難に英国の ヨンオンバレードである 関れの創造法の修事は難に英国の ヨンオンバレードである

ネ メメメナナまれは現に品行流でナメメメメメメ

一當 流代

王华 金 步纸 加橋 步玉 步 番 金 步 藤 斂 麼 太

なごや僧にどの領地ばかりを求め一たる 越の帯地展軍等

近で嬉じて西上ると一番美味しいありません。家庭では蓝茶を日本

ものが頂かれます

品の鑑別法

十圓以上は 申込 目科 講義、應用▲廿三日廿二日 女兒服、ド

大小な人揃つてあることです。稲 玉豊は甘味のあるほどよいもので大小な人揃つてあることです。稲 玉豊は甘味のあるほどよいものです 第一に源得色の重みを見るのです 十回以上は帰には強と戦化がない一般所一成十五回位までありますが ます、酒と同じで、話へ楽せて明 味は力の強いのを良いとしてあり 沢には飲んで味を見るのですが 即けばカンカン壁い普のするものへつ三権の蓋が引締り門んであててある製造家の製品です。 小鬼腹にやつ

イギリス人が食ふ

た『聖』帝地段』が下五、六府 一越五階ギャラリーで開かれた

五月廿日まで本社事業部の(年度はから) ・ムドレス▲二十四日手藝 の携帯品 繋ぎ、應用▲廿三日 婦人服ホ の育費 出二日 女兒服、ドレス原則 の育員 □病帯品 輝 ハサミ、白糸 □の育真 百五十名限り 自業

一十二日より三日間(安郷の際まで) 東京斉山レディス洋裁學院役友會 本社後援東京斉山レディス洋裁學院役友會 本社後援東京斉山レディス洋裁學院役友會 本社後援 來

先手好調に乗り好手連發

**込れら観で個ー** 函空の

泵

• 平

尾 斌 75 頜

這會個問題 待優伽

御兄場無料で御座います御兄場無料で御座いますを食場へ御持縁下されば御買上げになりその窓函を食場へ御持縁下さればを食場へ御持縁下されば 合が有りますから満員の節は御勘り 御川で下さい

料無場入仰

時才後午日:十一五 州光 時六後午日七十 同 時六後午日パナ 同 山群 る せ供提 を題

作特超ア

솦 企女 發 本女性文 聲 化協自特作

映聲發全

演 主



達女乙るだ刺發ぎ如の鮎若

場劇州光 館 1 和 Ψ. 會 公 館 國 帝

時六後〒日九十 同三州全

清淡地とたつて道宮局を直喰らは 平北の奥隆を物語る政字で丁爽館 は澄に自動派巡げ手の物優い志願の数字を示した、これは明らかに 川は諸母梁の興隆となりその延長、贈勘者三百五十二名、平北未曾有

示唆を興へてゐる 凝膜は遡らせんの開閉にも力強い

簡保講習 沙里院に開く

の基礎を築き内外の信温厚く今回しれてゐる、後任は稲田氏である著任以來湖北年六ヶ月、同出縣所」の榮韓は一般市民地方民から博主

窓にあつた各塁者が協調相和と副この館を規模として従来對立の定

姜黄海道知事

市民慰安會

期日內容

(五月廿九日新公倉堂の豫定)

敷地も決定道令の途附依頼

**新義州に設置確實** 

道行の説明方を

政権を所も既に決定してひる 関して死た、

動、教育事業の增大化に對脑子、認高に大棒織を加ふる環境である動、教育事業の増大化に對脑子、統の時裡において繫着した人事のれる相氏地區の程定、その他分、統の時裡において繫着した人事の配置してお大雅質療を鑑立し 左執のもとに人事集職を賃行し過程に置してみた難質療を構改し従来教育、組単総可の指令を陛次第道标道所第する謹真係を精改し従来教育

目されて居る 提出貨取調べ中であるか成行を往

議員達は全部國語がお解り

平北道督の明朗譜

を散を招待の上版園の嫁接を聖ふ、云こやかにガーデンパーティを開すて何等自当学齢髄代表音層外湾は、人之数招待の上子供を中心とした邦は激緩のセント・ガバナー放射 [職で月語園園人をはじの花巻子画規歌形態では平明十等かに同語版] たほ午発三時からは同語版印解紙 ※夫】英帝國学前の政容を誇る 競組が省日の十二日駐番英国 英帝戴冠式 奉天の祝賀宴

制變更を斷

同時に人事の刷新も行ふ

釜山府幹部が準備を進む

## 事景氣の國境

道當局の斡旋に應募者なく

を切る臨時近回は、

さらに四千名必要

消聴かに影楽の指示があつたか、

本來の使命達成に不斷の筆陣を張り聊か半島文化の促進に貢献我京城日報平壤支局は開設こゝに廿五年を迎へました、その間

2分類日和に息まれて中心子に飛射戦闘は春緑浦2十二日

日の秋には優良極の結實を見るの あるが、胃筋者はこれにより不

|本所聚は一般に期待されてゐるの
の
皆及を如實に物語るものとし ものが増加しつよあるのは後

業を實施致しまして更に大飛躍を試みることになりま來る廿五日を期し一大記念號を發刊し、更に左記の五-

機會に於て平素の御支援に感謝を捧げると共に自祝の意味か するところあつたことを顧みて感慨深きものがあります、

それ故、結核は難力さへ旺盛して、 なのが、しかし、既に離内で、故 はのが、しかし、既に離内で、故 組織を破壊され、盗 現代 一服・インショウに致べてしまふ を思動ことが、か の原物は、まだ肚の原がに、筋を接続 はが進行してる

結核験と名づけ

ふべきものであ めるが、それら

全國藥店沒有一月量一圓五十錢

、挹案閣松林中に兒童遊園設備寄贈

平壌に於ける過去二十五年間の政治、經濟、教育、交通社會等各方面

に亘る變遷史實記事の連載(投稿厭迎)

、挹桑閣前庭及び公設運動場附近に機樹移植寄贈(既に實施濟)

大記念號

發行

ルに一泊、同夜官民の歓迎官に座げて八分の別単で來南、南川ホテ「南川」 姜知事は十四日午前十一

脱し十五日午前十時谷山に出 謎

日舎人面銀川里地一様が起り、前記各里か

に押省せた五十個名が建動機具を

鳳山郡下の水争議

批政し日公園堂で二日間に重り心 沙里院】有元平壌分革局長は十

することを申し合せて散倒した、

沙里院の火事

【沙里院】十三日午後三時半頃西 は綿彩製八十六祭の中三十五祭を

崩すれば病菌に勝つ

**加入** 

**改院交付長工事事務に関する 川超人會最高等別版、郵畝の別のでは更に敵闘級少三券 総てこれに合成するためし、上等長官の別のでは更に敵闘級少三券 総てこれに合成するために、日平の約(件と云づて。 絹人質が消成せいる、こと、「日平の約(件と云づて。 絹人質が消成せいる。** 

患助膜

満原法

増進し、不快威去り、 榮養狀態良好となり、

發熱 食慾

ル點の好職を納めた各

されよ、 別力倍別す せざる人は

は成じて不留の質が一つて、震撼を派出するとか、定分 には、題に、背影を組織的に離化していぬされる選 そして一等に下海力を持ち始な て、種内に完美をするのであるかられば、追からずして しかも、からした智能繁な、節軸 結婚派法として、一世人が判別してよれば、これくらるよいにしてあるか。とい、に触ふることは、時には即つて張 智斯の報い為に、これくらるよいましてあない人間はほと では、要内で正んに発験して表 からまればである。とい、に触ふることは、時には即つて張 智斯の報い為に、これくらるよいましてあない人間はほと 配え 他は人であるのは、当れてもるか、ものまないわけである。 とい、には、のにはいわけであるから、要用は既心できない、ものはないわけであるから、要用は既心できない、ものはないわけであるから、とい、といるのはないわけである。

然、手の下しやうもないものであっちがひ心強いのは、眼に腹重が増 米國の生命保険資祉が協同調査

々たるものと云一質である。

盗汗は減退し、 舊來療法に 血色良化す を迅速に良物を させる形物 して最も合理的で、正しく肥り、

成分としたネオネオギーなる影響があれ、モンといふ田野に勝ちま それである。

甲に インシニリンだけの

が、型解療法として、一そうよいルモンを充質させる情趣ポルモン め、その結果、専門のすべての中州があるのでももから、組織を職

つてハクキリ自然される事であら

れても疑問するに、は暗疾に戻るが、緊発よく、肥強性んな人であれば、理魔は脳として、痩せてゐる熱 講入の注意

ところが、こゝに、肥循療法と 効】

生水、溜飲、

0)

み過ぎ、

恶醉、

痛

胃カタ

(可評格便單值三语)

(50)

號五十九百五



# 胸やけ、暖氣、 食後に胃がもたれ、暖氣や生水がこ

早期の治療が肝要 み上げ、胸やけがする、二十三時間 して胃痛が起る。

### て『胸やけ位』として放任するのは危険で、過剰の胃酸が絶えず胃の粘膜を刺致 してゐると胃壁を糜爛させて遂には胃潰瘍こなる惧れがあります。 右は胃酸過多の特有症狀ですが、別に床につかねばならぬ程の苦痛もないからこ

して制酸作用を働く薬劑の服用が合理的こされます。 それで早期に手當を施すべきで、本症の原因をなす亢進した胃液の分泌腺に作用

# 胃酸を制し、胃壁を護る

胃潰瘍への移行を防ぎます。 胃部の不快感及び胃痛を去つて、胃酸過多を早期に治癒に導くこ共に 吸收して胃中の酸度を低下し、塩化アルミニウム……は胃液の分泌腺素が り、次に建設を増化アルミニウムに分解し、 珪酸……は余分の胃酸を を收飲して、亢進した胃液の分泌を抑制し、相俟つて制酸の効を擧げ もので、先づ胃壁の全面を被覆保護して患部に及ぼす胃酸の刺戟を遮 ノルモザン錠の薬効は、主効分珪酸アルミニウム……の主作用による

制

可修道區東市阪大 店商衞兵長田武 弘條 元 賣 發 町本區橋本日市京東 店商衞兵新西小 嘉樹 店理代東關

胃潰瘍 二日醉、 胃痙攣 胸やけ、 船暈 かつき 車量。

 $\mathsf{VA}$ 

0100

店其他随風で遊戯のため同日に図、時から朝鮮神宮園場で行 に客車を増組し船塔の緩削を同る。入棚式 般衆客を飾りその替りのぞみ。甘蔗府事の副阳を受けた 釜山港外の魔の

スポーツにハイキングに

ーズンのクライマックスともいか。事は、刑川事がは、センビル脚、在 「三川 養活 海へー山へーな娘と 時間十四十年 経時十分)

のな然の湖い屋の水路で飛服か立。信制では海上安全を開すため口数一五六部別近は数世帯に羽怖されて、に騰きされることがあるので、悪い

職所へ谷山地外、住宅し配石の開発連結船も鑑の管門

阿十英国でこの島に焼台と野田県

を新設することになり五月本工事

十二月末までに成立する

様だである、魔の海に翻げを動め

川する域力をもつ瓦斯灯!

持つて來いのお訓へ向き

萬圓で新設する

霧笛や無級電話も装備

日曜は上天氣

屑鎭買ひたい。 ンから

ため客車の大阪盟を行ふことに

戦工所の雇人即死(性

**郷松韓に紹かれた、コーリ副領部 派込んであた (料真はアメリカン** 

**実堂でアメリカン(L機部の** 

『是非とも勝つて見せます』とな い師語に和やかなひと時を送り、

十六日の臨時

網るため比物ホームを居上げする

師、三浪は間の復郷上事に作る

四限と被縦上町により魔治力の引

**光信技(\*)は附近の平害水方の個** りで同れ二人二五柏川芳一氏反男

四年前九一地主都里港氏方をおれ 所不能を相称ことは十二

金品を強安金州生れた

際追収良五ヶ年制造の になったが同時に勝一

まづホームの嵩上げ

祭の貨物別能のスピードアラブを「程表の疑ひがあるので附近の複談」要中観覧登録に模型された

かり試施した第二世代建、總領事のある荒野人建か集まつて確含な

アラメダ(壁)の日は來た

國際的な話題を織込んで

**雇女忠南生れ様秋月さん**ごとは 段野は町五二飲食店野永舎さん

貨物列車

引頭へ西次門署へ築き出した、 五二菱異像技で、が正常で聞のなて発化するのを居合せた同可言 が金がの持つてある一個根を傾つ 家出して發見 即借を踏倒し

物中突列が行じからヌッと出た手

金彩芸芸

こが明正の野な様で買

十四月午後六時ごろ京城選案可二

追跡の末逮捕

東京大相撲夏場所成績義同類

||提院側瞰に風震側線||に十三日今度は英京ロンドンのレ 折角ながらお斷り

の、別等のスクラップの一手強下 オ・デザッド西南から観点上山の 定した、客車は単内の電線の線

大に吹まる

>第三ラウンド

(利能 先落 「監禁 田台

部の家元から准頭名は本林の民

骨董 番類

九龍山房

和單位性 **光路** 

塚本松溪氏來社

a 重要的 小童母

支城京社屬式株券證業勧本 

アメリカの漫画大家から

師國の途に

る元本山は誠に京命の本山から興 数の忠国大領部長両面秋木里にあ

へて十五日人仰式を行ふことにな|

仙境秋木里の

本社へ振つた求人

ログラムの中に奇様な形を ことをラヂオで放送するこ

側を発上げる。「ラミーいりまに強れて來て用富な報 本人間をお知り

門二ノ四五大東海の華人金属一方

同中の本可製度か京城大和

日午後三時四十分ごろ日口間一夜梅味七枚を押吹した

五名一綱打盡さる

戸口調査の警官

懐視の受け無一動となった動も敷心はは一動性機地方に於ける無田はこの

安、廣東敵烈役局の職夫として移一越百貨店難飲都主任飯光善一氏方

までの間に京城新な町四一五、三十四日郷十一時ごろから午後五時 貴金屬を盗難 三越の主任が

野口雨情氏來る―――

雨作

路消滿洲

置職者酬表一部三成一ケ年三十段

來

に於て間在中であるが、全面務安の教育に就いては目下本府内務局

四月中旬の大器風雨による罹災民 | 住せしめることとなった

本府内務局の救濟

泰風雨罹災民を

鹽夫として移住

**政業庭球リー** 

が路坡が高級の西四町町一七八金(土)

高級が露見

常はより変速をる左記収録に五千風、千風の大常り領部港江中国、加東大三回五ヶ風、大東川に一人の大常り領部港江地に「人仁川に一人類」「一人」と関わり組(三〇万九七帯、六月七日より数行り新労勢田して法に呼目の本紙上に掲載せり。 点日本勧業銀行構. 等當繼者續出 仲仙 回別 仲値 四期仲的

聘招員社 明治生命京城文店

内

特別窯内

**御**人用の方は前肌一四三六番へ 自然数住宅二層数異に資家もあり 一貫加出の前級三年

でである。 ・ では、 、 では、 一一三番 竹

軍部工業の黄金時代だ

た。 会社の主要の主要を表現します。 のも背景の上便なる地域します。 のも背景の上便なるがなします。 のも背景の上便なるがなします。 のも背景の上便なるがない。 ではない。 で

軍事主義の流転につれて今を

機械工大募集

電 理話 商品券 受済 金樹 明治 町入 コースエー

學 筆 事 製 生記 務 岡 用 用 用 用

※ 豆□第内

花柳病か科様で

**生月 朝鮮麥酒株式會社会養書換ヲ停止可致候** 名養書換ヲ停止可致候 名養書換ヲ停止可致候 利音れる大雑誌キング 

契約金入札(道本五) 三五帝 赤魯為和醫院花柳病專門

O PHO

· 墨八七年七年十月2日 京城府清水町二十二十里十二 

